令和7年1月定例教育委員会 会議録

1. 日 時 令和7年1月23日（月） 10:00から12:00まで

2. 場 所 中央公民館 講義室

3. 出席委員 教育長 宮 本 隆
教育委員 佐 藤 一 郎
本 城 慎之介
鈴 木 淳 子
藍 原 尚 美

4. 事務局 こども教育課長
生涯学習課長
こども教育課長補佐兼学校教育係長
こども教育課児童係長
こども教育課子育て支援係長
こども教育課軽井沢高校・教育魅力化推進係長
生涯学習課長補佐兼社会教育係長
生涯学習課長補佐兼文化振興係長
生涯学習課図書館長兼図書館係長

5. 傍聴人 0名

1. 開会

〈事務局（こども教育課長）〉

それでは定刻となりましたので、ただいまより令和7年1月定例教育委員会を開催させていただきます。初めに宮本教育長挨拶をお願いいたします

2. 教育長あいさつ

〈宮本教育長〉

皆さんおはようございます。お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。令和7年最初の教育委員会です。今年もよろしく申し上げます。私から2点お話をさせていただきたいと思っております。ひとつは、今、お手持ちの日本経済新聞の1月6日月曜日の七面に、ご本人がいらっしゃいますが軽井沢町ということで3人の方の記事が載っています。ここにあるオピニオンということ、新しい学校のかたちということで、この3人の方のうち1名の方はミネルバジャパン代表理事の方でして、ミネルバ大学と言うのは、ご存知の方があまりいないかもしれませんが、オンラインで世界の中で各地を巡りながら、学生は共同生活をしながら課題解決に当たるということで、確か今年、日本に来るのでミネルバジャパンが設立されていくということです。この方は、三井物産のキャリアウーマンからということですし、あともう一人の方は、神山まるごと高専というように四国の徳島の5000人の町に19年ぶりに高等専門学校が作られています、1学年40人しかおられません企業が寄付によって授業料はただというような非常に特色のある高等専門学校です。ここの校長が経済産業省のキャリア官僚ということです。そして、3人目に本城さんが軽井沢風越学園ということで紹介されています。要は、日本経済新聞の中でこういうかたちで取り上げられることは、教育関係の方は、もう、このようなかたちで並立するぐらいの学校が軽井沢にあるということは認識していると思うのですが、なかなか町民の皆さんはそこまで認識できていない。あるいは役場の中でもそういう部分があるかもしれませんが、そういったものですよということでお示ししているわけです。こういった私立は、もちろん風越学園さんに限らず ISAKJAPAN とかそういう新たな今までの理念ではない学校というもの、またお聞きするところによると、北側の方の長野原にも新たな学校が、私立学校が学校法人ではなく、教育特区を利用して作られるというような話もありますので軽井沢あるいは軽井沢周辺部、佐久・東信、そういったところでは新たな学校が非常に多く作られているということで注目されているわけですし、そういっ

た部分では公立の学校もそれに負けてはいられないということもありますので、こういった様々なかたちで改革をしていかななくてはならないというように考えています。

二つ目は、そういった一連の事で、児童館に関しても町としては今まであまり手をつけなかった部分がありますので、放課後子ども教室を東地区、中地区、西地区でやっていますが、その仕組みを変えていくことを来年度から行います。児童館の皆さんには既に2回説明会をしておりますが、要は今、新たな学校のスタイルみたいなものが協働的あるいは主体的な学びとか、あるいは個別最適とか、あるいは学習者目線というようなことが言われている中、児童館での例えば放課後子ども教室においては、学校が終わったら30分間みんな座って勉強しなくてはいけない。という仕組みとか、あるいは夏休みなどに、午後の1時から1時間座ってなさい。というような学びのスタイルが今の時勢に合うのかということを問題提起しまして、要は、子どもたちの主体性というものを考えれば児童館の役割というものが少し形を変えなくてはいけないのではないのでしょうかということを提案している次第であります。とは言って、児童館で放課後宿題をしないわけではない。その宿題をいつするか、どこでするかどのぐらいするか子どもたちが自分で決めなさい。ということ、厚生員の皆さんが指導していただくというような形で今の学校のスタイルに合わせていくというように児童館のスタイルを考えていくというようなことでして、それから児童館には非常に細かいルールがあるわけですが、その部分がある程度考えていく。再考していくという側面もありますが、こういった形で今まで手をつけていなかった側面という部分を考えていきたいと思っておりますのでご承知いただければと思います。

それでは今日はよろしく申し上げます。ありがとうございました。

3. 報告事項

〈事務局（こども教育課長）〉

ありがとうございました。それでは、3の報告事項に入ります。議事進行を宮本教育長よりお願いいたします。

〈宮本教育長〉

それでは3番の報告事項（1）教育委員会行事事業報告事項をお願いします。

○事務局（こども教育課長補佐兼学校教育係長）より説明

資料1ページをお願いいたします。教育委員会行事事業報告、期間につきましては、令和6年12月23日から令和7年1月23日までとなります。

12月23日、12月定例教育委員会、中央公民館。25日、部落解放同盟要請行動、役場。26日、仕事納めの式、役場。1月6日、仕事始めの式、役場。8日、部落解放同盟佐久地区協議会旗びらき、佐久グランドホテル。9日、児童館会議、中央公民館。10日、令和7年第1回軽井沢町議会定例会1月会議、役場。10日、佐久地区市町村教育委員会連絡会および主幹指導主事面談、佐久合同庁舎。11日、二十歳の集い、中央公民館。18日、第63回軽井沢スケート競技会中学生の部開会式、風越公園スケートリンク。20日、防犯カメラ確認、町内3小学校。22日、佐久地区市町村教育委員会連絡会および主幹次長面談、佐久合同庁舎。23日、1月定例教育委員会、中央公民館。事業報告につきましては以上となります。

<宮本教育長>

ありがとうございます。

（2）教育委員会の行事日程について

<宮本教育長>

続けて（2）番教育委員会の行事日程についてお願いします。

○事務局（こども教育課長補佐兼学校教育係長）より説明

資料2ページをお願いいたします。教育委員会行事日程、期間につきましては令和7年1月23日から2月20日まで。令和7年1月23日、町校長会、軽井沢中学校。24日、軽井沢高校課題研究発表会、中央公民館。27日、第67回軽井沢町書初展作品審査会、中央公民館。29日、性教育研修会、中保育園。2月7日、令和6年度佐久地区市町村教育委員会連絡協議会研修会・総会、佐久平プラザ21。12日、社会教育委員臨時会、中央公民館。16日、軽井沢杯バレーボール大会開会式、風越体育館。17日、ALT委託業者プロポーズ審査会、中央公民館。18日、軽井沢高校学校評議員会、軽井沢高校。20日、町校長会、中央公民館。

資料1のるるぱるにつきましては、子育て支援係長より説明をさせていただきます。

○事務局（こども教育課子育て支援係長）より説明

資料1、るるぱる2月号をお願いいたします。2月の子育て支援センターの主な行事となります。まずは子育て講演会で、2月25日火曜日、10時30分から11時30分です。町内在住のインストラクター高林愛里先生による親子でできるベビーエクササイズと題しまして、親子のふれあいを通してお父さんとお母さんにリラックスをしていただく内容となっております。子育てダイヤルは、2月4日、18日、25日の毎週火曜日の午前9時30分から12時となります。ぴよぴよベビー相談は、2月3日月曜日、13時から16時を予定し助産師が授乳、卒乳、育児など心の悩みなどを伺うことになっています。3ページになります。12月の子育て支援センターの利用者数は545人、相談件数は122件となっております。詳細につきましては別紙をご確認ください。以上です。

（3）各種行事への後援等について（9件）

〈宮本教育長〉

ありがとうございました。それでは続きまして（3）の各種行事への後援等についてお願いします。

○事務局（生涯学習課長補佐兼社会教育係長）より説明

資料3ページをお願いします。各種行事への後援について承認したものが9件ございますので、行事名、主催者、開催日、場所の順に説明をさせていただきます。

①子どもの潜在能力を引き出す脳科学講座。資料は4、5ページ。主催者は一般財団法人日本リーダー育成推進協会。開催日は6月4日、5日、6日、8日。オンライン講座で実施します。

②教育講演会7カ国語で話そう。資料6、7ページ。主催者は一般財団法人言語交流研究所ヒップファミリークラブ。開催日は2月22日。場所は軽井沢風越公園体育館会議室。

③CITIZEN U21 軽井沢 Jr. チャレンジカップ2025。資料8、9ページ。主催者はNPO法人スポーツコミュニティー軽井沢クラブ。開催日は3月1日から2日。場所は風越公園軽井沢アイスパーク。

④2024/25 佐久ジュニアスピードスケート競技会。資料10、11ページ。主催者は軽井沢スケート連盟、佐久市スケート協会、南佐久スケート連盟。開催日は1月26日。場所は軽井沢風越スケートリンク。

⑤エルツおもちゃ博物館・軽井沢2025年春夏展「想いをつたえるミニチュ

ア展～エルツ地方のおもちゃ工房をたどって～」。資料 12、13 ページ。

主催者はエルツおもちゃ博物館・軽井沢。開催日は、前期が 3 月 8 日から 6 月 9 日。後期が 6 月 11 日から 10 月 13 日。場所はエルツおもちゃ博物館・軽井沢展示館。

⑥軽井沢絵本の森美術館 2025 年春展「たのしいイソップ童話の世界」。資料 14、15 ページ。主催者は軽井沢絵本の森美術館ムーゼの森。開催日は 3 月 8 日から 6 月 22 日。場所は軽井沢絵本の森美術館・第 2 展示館。

⑦軽井沢スポーツ祭。資料 16、17 ページ。主催者は NPO 法人スポーツコミュニティ軽井沢クラブ。開催日は 5 月 17 日から 18 日。場所は風越学園。

⑧第 10 回軽井沢 WEB 検定。資料 18、19 ページ。主催者は一般財団法人軽井沢観光協会。開催日は 2 月 2 日から 3 日。場所については各個人のデバイス上。

⑨第 17 回メカトロニクス教室 IN 軽井沢 2025。資料 20、21 ページ。主催者はボランティア団体メカトロニクス教室軽井沢・代表眞島聡子。開催日は 2 月 16 日と 3 月 22 日。場所は中央公民館。以上、教育長専決で決裁したものになりまして報告させていただきます。

<宮本教育長>

ありがとうございました。軽井沢スポーツ祭は 5 月 17、18 日なのでしょう。18 日はマラソンの日なので被っているのかとおもいまして。

<A 委員>

確認してみます。

<宮本教育長>

それでは次の（4）番は個人情報もあるので非公開の部分に回したいと思います。

4. 協議事項

（1）各種行事への後援等について（3 件）

<宮本教育長>

それでは 4 番の協議事項にうつります。（1）番各種行事への後援等についてお願いします。

○事務局（こども教育課長補佐兼学校教育係長）より説明

資料5をお願いいたします。ポータークロッシングス展—行き来する、その先へ—の名義使用承認についてになります。令和7年1月8日付で申請になったものでございます。申請者につきましては、イートンハウス軽井沢・亀割理奈。名称、ポータークロッシングス展—行き来する、その先へ。実施期間につきましては令和7年3月18日火曜日から4月1日の火曜日まで。主催につきましてはJIREA/EtonHouse International School。実施場所につきましてはEtonHouse International School Karuizawa。参加費につきましては、一般が1,000円、中高生500円となります。続きまして3ページをお願いいたします。こちら申請書になります。申請書の中ほど、事業の趣旨について読み上げさせていただきます。事業の趣旨、イタリア、レッジョ・エミリアの教育手法を主とした体験型の展示会を開催するものでございます。次の4ページをお願いいたします。4ページには展示会の概要、企画背景と記載されております。中段より下のところを読み上げさせていただきます。『本展は「子どもたちとデジタル環境」をテーマに、「視る」展示としてだけでなく、「聴いて」、「触れて」、「感じて」、「考えて」、「表現できる」アトリエ併設型の展示会アトリエです。』次のページをお願いいたします。上段から2段目ぐらいのところがございます。『本展では、レッジョ・エミリアの乳児保育園、幼児学校で、子どもたちが、デジタルをツールとして活用しながら自分たちと自然の関係性について探求した10の具体的な探求の物語りを、展示パネルや豊富な動画資料で紹介しています。』また、その下の部分ですが、『展示の大きな特徴であるアトリエ空間では、デジタルランドスケープの中に来場者自身が身を置き、五感をつかって自然や自然を取り巻く環境と関係を持つことで、創造的な学びを体感することができます。』一番下のところになります。『本展を通じて、子どもたちの思考や学びのあり方から私たち大人が学び、より多くの「子どもたちの100の言葉」が受け止められ、社会に届けられていくことを願い、企画しました。』というものでございます。次のページにつきましては、レッジョ・エミリアのアプローチになります。次のページをお願いいたします。主催団体についてになります。展示会の日程及び詳細が記載されております。東京1.2と石川県加賀市と最後に軽井沢町で3月18日から4月1日まで行うものでございます。次の8ページからはレッジョ・エミリア展示会2025の企画案となっております。展示会の開催地につきましては先ほど説明させていただいたとおりとなります。次の9ページの展示会の概要ですが、『そのプロセスを通じて生まれたデジタル詩を発信していくことを目的とした展示会アトリエです。自然がテクノロジーという手段を通してリサーチされるとき、予期せぬ可視性、独

創的な推測、まったく新しい文脈を生み出すのです。この展覧会で取り上げられているレッジョ・エミリアの園から生まれた一つ一つのプロジェクトストーリーはプロジェクトそれぞれのもつ生成的な閃きを理解させ、子どもたちが日常の生活の中に溢れている世界との出会いを精緻に捉え、理解し、自ら解釈する力があること、「子どもたち1人1人が生まれながらに持つ有能性」を示していくということを目的として開催していくものでございます。次のページ以降につきましては、企画の背景が記載されております。白黒でわかりづらく申し訳ございません。11ページにはアトリエのイメージが掲載され、また、12ページにつきましては各国での開催事例や過去の展覧会の実績を紹介させていただき、14ページにつきましては、先ほどご説明をさせていただきました EtonHouse Karuizawa の開催の詳細が記載されており、入場料は未就学児が無料となっております。15ページにつきましては、EtonHouse Karuizawa の会場の風景を載せさせていただいております。16ページにつきましては、会場の案内です。17ページにつきましては、予算案となりまして、必要経費が合計で1,200千円。また、こちらに入場料も記載されており、チケット収入予測として300千円を予定しております。次のページに不足額等記載されております。次の19ページ以降につきましては、会社の定款をいただいております。

以上につきましては、承認基準を満たしていることから後援させていただきたいと考えております。こちらのご審議をよろしくお願いいたします。

<宮本教育長>

ありがとうございました。資料5についてはいかがでしょうか。よろしいですか。

<教育委員>

—承認—

<宮本教育長>

続きまして、資料6をお願いします。

○事務局（こども教育課長補佐兼学校教育係長）より説明

資料6をお願いいたします。令和7年1月9日付けで申請がありました子育てが楽しくなる個性心理學&ライフプランセミナーの名義使用承認についてになります。申請者につきましては、植松 恵。名称につきましては、子育てが楽しくなる個性心理學&ライフプランセミナー。実施期間につきましては、令

和7年2月22日土曜日から2月26日水曜日まで。主催につきましては、一般社団法人・人付き合いと金融知力向上育成協会。実施場所につきましては、軽井沢町中央公民館。参加費については無料となっております。次の2ページをお願いいたします。こちらが名義使用承認申請書になります。申請書の中ほど事業の趣旨についてですが、セミナー、イベント運営と開催及び講師の派遣とありまして、名義を必要とする理由として、子育て世代に向けたセミナーのため、小学校にチラシ配布をお願いしたいため。となっております。次の3ページは事業計画書になります。1の事業概要、子育て世代へ向けた子どもへの声かけ・接し方などの講座および金融リテラシー向上のための基礎知識を学ぶ無料講座となっております。その下の事業の内容、『子育てに悩んでいる保護者を対象とし、個性心理学を通じて子どもの個性を理解し、その個性に応じた声掛けや接し方を学んでいただく講座』です。また、家庭における金融リテラシーの向上を目指し、ライフプランを活用した家計管理を学ぶ内容も含まれております。本講座を通じて、子どもへのお金の教育は日常の中で継続的に身に付けることが重要であると考えております。「お金の教育は家庭から」という理念のもと、社会貢献活動として無料で実施するものでございます。その下、会計・収支予算になります。収入額15,000円。支出額15,000円で収支0円となっております。次のページはチラシになり、先ほどの概要と日程がこちらに記載されているものでございます。定員は各日程10名となります。次のページにつきましてもチラシの概要となっております。次の6ページにつきましては、承認通知書の案となり、7ページにつきましては、「軽井沢町教育委員会名義使用承認に係る取扱基準」、8ページに「軽井沢町教育委員会名義使用の承認に関する規程」を載せさせていただいております。こちらの規定には「軽井沢町教育委員会の名義使用の承認に関する事務の取り扱いについては、軽井沢町名義使用の承認に関する規程の例による。」とございまして、次のページに「軽井沢町名義使用の承認に関する規程」をつけさせていただき、こちらを元に承認をさせていただくものでございます。ちなみにこちらの企画につきましては、昨年度の6月にも同じ申請がありまして、本来であれば専決ということで報告させていただく事項になりますが、今回は、内容は同じですが主催者名が変わったことから改めて申請をいただきましたので今回協議として挙げさせていただいたものになります。こちらの申請につきましても、ご審議をお願いいたします。

<宮本教育長>

ありがとうございました。資料6についてはいかがでしょうか。

〈B 委員〉

前回、どなたが主催したかというのは記憶にないのですが、難しいなと言う気はしています。植松さんはファイナンシャルプランナーのようで、結局、子育てに悩んでいる、個性心理学というようなところから、結局は自分のファイナンシャルプランナーのお客さん獲得のために使われている感じは、はっきりとは書かれておりませんが正直あります。無料とはありますが、最終的にはお金の話で、年金の話とか保険を切り替えましょうなど、そういった話しになるのはゼロではないような気がしますので難しいと思います。

〈こども教育課長補佐兼学校教育係長〉

そうですね、やはり B 委員がおっしゃられた内容は、教育委員会の中でも話がありまして、今回は確かに無料で行いますが、その後に見え隠れするものがあるのでこの件について後援するのはいかがなものかというような話も正直ありましたが、昨年度も承認をしているところも実際ありまして、一応、昨年と同じ内容でやるのであれば、昨年は後援をしておいて今年後援しないのは理由付けとしていかがなものかということもありまして、協議していただくとなりました。町の規程に準じてという部分を確認しまして、そのところでこれをやることによって町の規程から違反するようなことは見受けられないので承認対象になるのではということなので今回あげさせていただきました。

〈宮本教育長〉

こちらは 2 月なので次に送るということはできないのですよね。本当であれば、昨年の受講者から具体的に内容を聞いたり、お客さんの獲得などそういったところに寄与しているかなど確認をして、大丈夫だと判断をすべき事案だというふうに考え、その部分を今回は承認しますが、そういうところはないかを確認をして、新たにライフプランナーとして顧客を獲得するということには何の利益もありませんよね。と確認をしていくということじゃないでしょうか。あるいは、もうご意見いただいて不承認と決めてもいいですし、今回、承認しますがそういうことがありましたら来年は承認はしませんという条件付きでいかがでしょうか。一応そういう懸念が出たということなのでどうでしょう。今回の後援について実態をしっかりと見て、今回の後援が適切だったかどうかということについて判断させていただくということではいかがですか。

〈教育委員〉

—承認—

<宮本教育長>

では、資料7をお願いいたします。

○事務局（生涯学習課長補佐兼社会教育係長）より説明

それでは、資料7をお願いいたします。1月8日付けで信州唱歌童謡の全国コンクール2025の名義使用承認の申請がございました。名義使用の種類は後援でございます。申請者は、一般社団法人 全日本こどもの歌教育協会 代表理事 荒井成美。事業名称は、信州唱歌童謡の全国コンクール2025。主催者は、一般社団法人 全日本こどもの歌教育協会と日本唱歌童謡教育学会の2団体の共催となります。実施日は、令和7年5月15日木曜日から9月23日火曜日まで。実施場所は、茅野市民館、全電通ホール、軽井沢大賀ホールでございます。参加費等については、5,000円から15,000円。参加部門、人数により価格差異がございます。備考といたしまして、町への後援申請ありまして後援済みということになっております。続きまして3ページをお願いいたします。申請書の中の名義使用を必要とする理由につきましては、本コンクールの目的・趣旨にご賛同いただき、全国大会開催地である軽井沢町教育委員会の名義後援をお願いしたいため。実施場所については、全国大会を軽井沢大賀ホールで行うというものでございます。予定人数は200人でして、参加費については5,000円から15,000円と人数×500円を徴収するというものでございます。

4ページをお願いいたします。4ページ以降は開催概要になりまして、目的についてです。『「故郷」「夕焼小焼」など、信州の美しい自然や信州ゆかりの人びとが生み出した童謡唱歌を通じて、詩を深く味わい、歌の持つ力を見つめ直す事で、更なる研鑽と努力を喚起し、音楽文化に寄与する優れた音楽家としての成長を希求することを目的といたします。』ということです。その下の部門については、子どもから大人まで参加できます。5ページには、本選大会の会場が長野会場と東京会場があり、長野会場は茅野市となります。全国大会を軽井沢大賀ホールで開催すると記載してございます。6ページ、7ページには課題曲、自由曲が記載されてございます。10ページについては、収支計画ということで収入・支出ともに3,118千円となりまして営業目的ではないと思えます。11ページ以降には二つの学会の会則等が記載してございます。

説明は以上でございます。よろしくご審議のほどお願いします。

<宮本教育長>

資料7についてはいかがでしょうか。こちらは、初めて大賀ホールで全国大会をやるのでしょうか。

〈生涯学習課長補佐兼社会教育係長〉

そうですね、多分ここが初めてだということです。

〈教育委員〉

—承認—

(2) 軽井沢差別撤廃人権擁護審議会委員の推薦について

〈宮本教育長〉

それでは(2)番、軽井沢差別撤廃人権擁護委員会についてお願いします。

○事務局（生涯学習課長補佐兼社会教育係長）より説明

資料8をお願いいたします。令和6年12月25日付で町長から教育長あてに軽井沢差別撤廃人権擁護委員の推薦についてということで依頼がございました。この件につきましては、2ページをご覧ください。11月の定例教育委員会で説明を申し上げました軽井沢町人権同和教育推進委員会と軽井沢町男女共同参画計画推進委員会のふたつの会を統合して、軽井沢町差別撤廃人権擁護審議会ということで委員16名をもって構成しますということで改正になる部分になります。1ページに戻っていただきます。教育委員ということで4月1日から1名を推薦していただきたいと依頼がありました。これにつきましては、現在、人権同和教育推進委員を佐藤職務代理にお願いしておりまして、事務局としましても職務代理も多くの職を兼務しているということもありますし、また、人権擁護ということから、藍原委員にお願いしたいと事務局では考えておりますがご審議をお願いしたいと思います。

〈宮本教育長〉

提案ありましたがいかがでしょうか。

〈藍原委員〉

お話を伺っております。お引き受けしたいと思います。よろしく申し上げます。

〈生涯学習課長補佐兼社会教育係長〉

事務局に確認しましたところ、基本的には年2回の開催ということです。ただ10年に一度ぐらいで計画の策定変更があるので、そのときはその2回プラ

スアルファの会議がございます。あとは任意参加の研修会というのが県の主催あるいは国の主催の研修会というのが任意の参加でいくつかありますということでございましたので、よろしく願いいたします。

〈藍原委員〉

ありがとうございます。よろしく願いします。

〈宮本教育長〉

はい、(2) 番はよろしいでしょうか。

〈教育委員〉

—承認—

(3) 新庁舎周辺整備事業について

〈宮本教育長〉

それでは(3) 番、新庁舎周辺整備事業についてお願いします。

○事務局（生涯学習課長補佐兼社会教育係長）より説明

資料が多いのですが、資料 9-1 から 9-3 まで説明させていただきたいと思います。まず、資料 9-1 につきましては、今までいただいた意見とか今後の方向性について作成したものでございます。

最初の部分は教育委員会の事務局の考え方の要約ということで、少し読ませていただきます。5 点ございます。

- ・新しい公民館の規模は、現状と同等程度、延べ床面積 2,500 m²とする。
- ・新しい公民館機能のテーマを「つどう」「まなぶ」「むすぶ」に設定し、気軽に集まることのできる「つどいの場」、個々の興味に基づいて学習したり、技能を習得できる「まなびの場」、自らが学んだ成果や活動の輪を広げ、さらに新たな活動を生み出す「むすびの場」を目指す。
- ・新たな施設は原則、利用料を徴収するとして、利用形態によっては減額もしくは免除を検討する。
- ・施設の名称は中央公民館ではなく、仮称ですが、交流センター等とするが、現状の公民館活動、公民館の自主事業などは継続して推進していく。つまり公民館+α、例えばまちづくりや地域づくり、住民の交流の場などの機能を付加する。

・各地区の公民館分館についても現状どおり分館としての機能を維持したうえで、地域の活動等に今まで以上に活用されるように推進していく。というような基本的な考え方。それに対して、令和6年11月18日の11月定例教育委員会での意見、それから12月18日に開催しました社会教育委員会定例会での意見と2ページに移りますが、12月23日の12月定例教育委員会での意見、または、年末には社会教育委員会の定例会に欠席した委員さんへの意見照会をメール送信し、1月末までに何かありましたらご意見をお願いします。としておりますが今のところございません。

次の事務局の考察ですが、事務局で示した案に対して、教育委員・社会教育委員の皆さんからは様々な観点から意見を頂戴しました。今後反映できるよう努力していきたいと考えています。いただいた意見については、事務局案と大幅に乖離している意見はなく、概ね肯定的な意見と捉えています。ただし、実際に運用していく中で様々な取り決めやルール作り、制度設計をしていく必要があるので、今後も合意形成を進めたい。ということでございます。

今後の方向性について、さしあたって、決めていかなければいけないと思われる事項として、公民館のコアとなる部分の諸室構成。諸室ごとの規模感や多目的な用途に使えるような設えの検討について。

交流センターに移行するとして、建物の所管が教育委員会ではなく、町長部局になることによって公民館機能が衰退しないようにするために制度上必要なことは何かというようなことを検討していかなければならないと考えております。最後の3ページですが、公民館機能拡充施設に関するアンケートの実施の目的が記載されております。

回答者として、住民の方、中高生、現中央公民館登録団体、老人福祉センター登録団体にアンケートを実施しまして、現在、軽井沢在住のコンサルティングを手掛けている吉田創氏に分析をお願いしており、とりまとめ中でございます。それから公民館分館へのアンケートとして、町内の24施設の分館長に分館の区民以外への貸出状況や懸案事項、予約システム化に対する考えなどを調査して回答をいただいております。このような状況で現在、進めているところです。資料9-2の基本計画は、まだ表に出ていないものでございますので、取り扱いには注意をしていただきたいと思います。この資料につきましては、新庁舎周辺整備課の佐藤主任より説明をさせていただきます。

○事務局（新庁舎周辺整備課）より説明

新庁舎周辺整備課の佐藤と申しますよろしく申し上げます。
町側より教育委員会の皆様に向けて本日お話しさせていただく内容ですが、庁

舎改築周辺整備事業の規模や機能をまとめた基本計画の素案ができましたので教育委員会の皆様に関係する部分について、ご説明させていただきご意見をいただければと思います。なお、先ほど来お話をさせていただいていた意見等がですが、基本的には溶け込んでいるような状況だったとお伝えさせていただきます。なお、この資料につきましては先ほどもありましたが、本日、午後に開催されます庁舎改築周辺整備事業推進委員会、明日、開催されます議会全員協議会の場で全部の素案を説明させていただきます。

それでは説明させていただきます。3ページをお願いいたします。こちらは基本的事項の整理ということで、これまでの情報を簡単に整理したものです。

4ページにつきましては、中央公民館の課題としては、公民館機能の圧迫の是正のためにハード面ソフト面を見直す必要があるという課題を書かせていただいております。5ページは建設地を示させていただいており、こちらは次のページ、6ページ以降になりますが、この見直しにより大きく変わった点として民有地を取得予定となっておりますので、最後8ページ、整備方法B案ということで、庁舎と公民館機能を一体的に作るということを決めさせていただいております。9ページをお願いいたします。こちらは、基本方針を掲げておまして、公民館の機能拡充施設の基本理念ということで基本的な五つの柱を踏襲させて整理させていただいた上で挙げさせていただいております。9ページから10ページは、施設計画の検討ということで先ほど町づくりにおける行政の考え方ということで、当初の特徴的なところでやはり町民と別荘の皆さんいらっしゃるし、それだけではなく、世代間交流とかいろんなことがありまして、それぞれの繋がり、地域の繋がり等の重要性がより増す中で、これから建てる施設を新たなコミュニティをつなぐ拠点として、まちづくりに資する建物として考えていきたいというような旨が記載されております。12ページをお願いいたします。こちらの建物のデザインイメージですが、町長が言われている言葉ですが、質実剛健で品格のある軽井沢らしい建物を目指して、コスト削減を重視しつつ魅力が高まるように検討していくということで触れさせていただいております。13ページですが、一体化案になったところで、庁舎機能と公民館機能がひとつになりますので相乗効果を最大限発揮すべく施設構成として示させていただいております。こちらにつきましては、このオレンジ色の部分が公民館機能拡充施設の機能というような形で今のところ配置をしております。

これからは、先ほどお話ありましたように設置を決めていく中で、こういった大まかなゾーンの中でいろいろな内外の繋がりを大事にしていきたいというような形で考えております。14ページ、15ページにつきましては、公民館の

位置づけであったり、目的、あるいは課題であったり、使用料の話などが触れさせていただいております。17 ページ、こちらについては重要な部分ですが、先ほど来説明もありましたが町としましては、公民館から交流センターへ新たな活動の場へ移行したいという考えがあります。その中で、公民館機能については交流センターに移行した後としても社会教育法に基づく生涯学習の場が保たれるように検討していきたいというように考えております。

(2) につきましては、今後、交流センターに移行するにあたっての協議事項を並べておりますので、所管が変わることはかなり大きなことになるかと思っておりますが、その辺りも含めて教育委員会ですとか社会教育委員の皆さんとも引き続き協議を進めていたただきたいと考えております。次のページにつきましては、新たなテーマの「つどう」「まなぶ」「むすぶ」ということが記載されております。19 ページはゾーニングですが、まだ素案の段階でして先ほどのゾーニングだけですのでもう少し具体的に出したところでお示ししたいと思っております。20 ページです。先ほど来ありました公民館現状程度というような話もありましたが、全体事業の中ではやはり当初、公民館 5,000 m²というのがあまり具体的ではないというような意見がありましたので、実際に積み上げていくとどのようになるのか、現状のニーズ調査を踏まえて概ね 3,000 m²程度が妥当ではないかということで示させていただいております。この中には共用部というものを考えておりますので、全体として 2,500 m²は確保しつつ共用部分を生かしていきたいというように考えております。22 ページ、23 ページですが、こちらは一体感になった場合につきましては、先ほどの公民館に 3,000 m²、それと新庁舎 6,000 m²合わせて 9,000 m²の建物ということで今のところ検討しております。次のページをお願いいたします。こちらにつきましても今後検討していかなければいけない特にソフト面ですが、公民館機能拡充施設の事業手法・運営方針につきましては、ただいま調査中でございますので示せる段階になりましたらまたお示ししたいと考えております。最後に整備手順ですが、こちら重要な点ですが B 案に決めた一つの要因としましては、現在の公民館を使い続けながら建物を建設して、建設後、現状の公民館と庁舎を解体するというところで、活動を止めないというところに注目しながら事業を進めていきたいと考えておまして、最後のページになります。今のところ予定でいけば令和 11 年度中に運用開始ができるのではないかと考えております。資料 9-2 につきましては以上でございます。

○事務局（生涯学習課長補佐兼社会教育係長）より説明

続けて資料 9-3 をお願いいたします。資料 9-3 の 1 枚目の図面はこのように

配置をするということではなく考え方ということでご了承いただきたいと思えます。まず、公民館機能と庁舎というものの間のオレンジ部分になります。広いのですが共用部を間にかませて公民館と庁舎を一体化するという考え方で。我々、教育委員会として、公民館の部分のうち、2,180㎡が前は2,750㎡でして、この2,180㎡の公民館の諸室構成をまずは検討していきたいと考えております。

2枚目をお願いします。こちらは公民館機能拡充施設の規模に対する事務局の素案となります。公民館機能拡充施設の規模として、現中央公民館の状況や、前回の基本計画までにおいて行った意見収集、ワークショップ等を踏まえ、諸室構成、規模についてまとめました。なお、教育委員会事務局としましては、今、申し上げた通りあくまでも全体の中の公民館のコア部分、老人福祉センター登録団体の利用も含めてですが、これらについてはまずは検討していく方針です。理由としましては、共用部については、他の会議等でも議論がされている部分でありまして、まずは教育委員会として公民館のコアの部分を決めていきたいという思いがあるということでございます。

この表ですが、色分けしてありますが、一番左側に現中央公民館の諸室構成と面積。それから薄い緑の部分ですが、最初の案で示された面積合計が5,000㎡となっております。それに対して今回面積を想定するものは、先ほど申し上げたように2,180㎡となっており、これが例えば2,300㎡になってもいいと思うのですが、2,180㎡にこだわらなくてもいいと思うのですが概ね2,500㎡以内の数字で考えている諸室構成と面積ということです。青でマーカールの部分は公民館のコア部品、黄色マーカールについては共用部にしたほうが使い勝手がいいのではないかと考えている部分でございます。いろいろと注意書き等が書いてありますが、ご意見頂戴する中で多目的なもの良い、それから小さな部屋が欲しい。音響の音が漏れない、臭いが漏れないというような声が意見をいただいているので、その辺を考えながら進めていかなければいけないということで素案を示したものでございます。

これにつきましてある程度教育委員、社会教育委員さんとも合意形成を図っていかねばならないと思っておりますので、この場でも結構ですし後日でもいいですけども、ご意見等あれば随時いただきたいと思っております。よろしくご審議をお願いいたします。

<宮本教育長>

ありがとうございました。資料がたくさんありますが、どんなことでもいいので何かございましたら、お願いします。

<C 委員>

アンケートの関係で、新しい公民館ができることは非常に良いとありますが、料金の関係をアンケートに入れましたよね。その結果はどんなことでしたか。料金の関係については、結構抵抗があるのではないのでしょうか。そういうところが少し心配ですがどんな感じですか。

<生涯学習課長補佐兼社会教育係長>

今、まとめているところですが、パラパラと見ている中では有料になったら使わないと言うような登録団体もないことはないです。あります。ただ、多くの意見としては低額ならば利用を続けていきますと言う団体がほとんどでしたので、その辺についてはそれほど大きな反対と捉えていません。

<C 委員>

特に風越のオープンの際にも、かなり料金の関係について抵抗がありましたので、その点だけをしっかりとやっといていただいた方がいいかと思います。

<生涯学習課長補佐兼社会教育係長>

はい。ありがとうございます。前にも少しお話ししましたが、例えば風越公園の会議室とか他の施設の会議室も有料になっていて、ここだけ無料だからここにみんな来てしまうようなことがあったりすると思うので、その辺のすり合わせをしながら他の施設との同じ程度の金額でということにして、できればわざわざ来なくても近くの会議室を使う、お住まいの近くの会議室を使えばいいということにもなると思うのでその辺は進めさせていただきたいと思っております。

<C 委員>

だいたい料金の関係については他の施設と同じような減額なら減額とかそういう同じような感じですね。

<生涯学習課長補佐兼社会教育係長>

そうですね。ここだけべらぼうに高いということもできませんので、他の施設とのすり合わせは必須だと思っております。

<C 委員>

はい、その点だけありがとうございます。

〈宮本教育長〉

その他何かございますか。

〈D 委員〉

ほぼもう同じ意見ですが、前回よりも2,000㎡縮小したその中で、おそらく共用部へうつしたところが1,300㎡補填されている平米かと思っています。構造機能が今の大讲堂と同じような形の面積が確保されているというのは大事ななと思いました。やはり町が目指す方向として、町民のまちづくり活動がすごく活発になっているというような方向性を目指すのであれば、この公民館機能のところが結構大きいある程度のスペースが確保されているといいなと思っていますのでこれぐらい確保されていると安心だと思います。その上で、議会コアのところは1,000㎡ありますと、利用頻度とか、利用人数を考えると、ずいぶん結構たくさんだなどに思っています。やっぱり議場を上手な形でデザインをして、例えばコンサートとかホールとかそういったような形で兼用し、理事会が開催されてない部分のときには、交流センターや公民館としても使えるような形っていうのをするとまちづくりの活動とか町民のいろんな文化的活動の幅も大賀ホールがあったとしても、町民が気軽に使えるというような形で議会コアの部分も何か一緒に交流センターとしてどういうふうの一部使えるかってことも考えていけるといいのかと、議場だけにしておくのは勿体ないとは思っています。これはいろんな意見があるとは思いますがそんなことを思いました。

〈新庁舎周辺整備課〉

ありがとうございます。おっしゃる通り議会につきましては、今、1,000㎡ということで前回のままになっておりまして共用ができないかとか、どういう使い方をしていくかというところは別途協議させていただいているので、今後そういったことが実現していったらいいなというような形で投げかけさせていただいております。

〈宮本教育長〉

方向性としては、やはり今回は今使っている方がいるので、それが保障されていて、ただそこだけじゃなくて町民の皆さんがまちづくりとかいろんなところでいろんな活動されていることを保証していくとなれば、その今までの理念や、はまらない部分のところはやっぱり拡大していくっていう方向なのでしょうねっていうことをぜひ言っていただければと思います。他にいかがでしょう

か。よろしいですか。あとは今日の午後にかかっていますので、よろしく願いします。

〈生涯学習課長補佐兼社会教育係長〉

また後でも結構ですので、ここもちょっと増やすとか、こういう小集団の方がそういう意見もぜひ募集しています。

〈宮本教育長〉

はい、(3) 番はよろしいでしょうか。

〈教育委員〉

—承認—

5. その他

〈宮本教育長〉

それでは、(5) 番その他についてお願いします。

○事務局（こども教育課長補佐兼学校教育係長）より説明

お願いいたします。令和6年度佐久地区市町村教育委員会連絡協議会研修会および総会の開催についてご説明いたします。こちらは事前に教育委員さんに連絡をさせていただきまして、出欠席の報告をいただきましてありがとうございました。こちらで確認を含めて日程等のご報告をさせていただきたいと思えます。日時につきましては、令和7年2月7日の金曜日になりまして、研修会と総会が午後4時から開催されます。場所につきましては、佐久平プラザ21となっております。出席者につきましては、こちらの次第に記載させていただいているとおりとなっております。事務局1名、私も出席させていただきたいと思えます。また、こちらは懇親会もありますので、懇親会に出席される方は私の方で送迎させていただきたいと思えますのでよろしくお願いいたします。当日の出発時間等につきましては、調整をしたのち連絡させていただきたいと思えますのでよろしくお願いいたします。

〈宮本教育長〉

ありがとうございました。

※以下、個人情報により非公開
報告事項（４）区域外就学の承認について（３件）

６．閉会

＜事務局（こども教育課長）＞

それでは以上をもちまして令和７年１月の定例教育委員会を終了させていただきます。ありがとうございます。

次回の定例教育委員会開催予定日は２月２０日木曜日１３時３０分からとなりますのでよろしくお願いいたします。